

好奇心を“天職”に変える空想教室

植松 努

サンクチュアリ出版



大人になったから響く、という部分も多少あるかもしれませんが、この本を若い時に読めたら良かったと思います。／生徒を見ていると「夢を持つ」ということが死語になりつつあるようにも思われます。学生の時にこそ、自分の好奇心を豊かに育ててほしい。／「好奇心」「夢」を原動力に、自分を社会を変えていくヒントがたくさん詰まっています。／自分にとってなぜか心引かれる方向を大切にしていきたいと思いました。／何事もあきらめてはいけない、今からでもやってみてごらんと背中を押してくれる本。／就職する生徒、進学する生徒、いろいろな進路があるが、この先自分の気持ち次第でやりたいことが実現できる。可能性はひろがっている。／思はるは招く→夢を叶えるためにどう考えどう行動するか。ヒントになることがたくさん書かれていて元気が出ます。／「将来の夢を「職業」でしか考えていない生徒が多いと思いませんか。そんな生徒に手渡したい。 でーれーBOOKS 2017

がさつ力

千原 せいじ

小学館



失敗を恐れてか、大きな夢や新たな挑戦に対して消極的な高校生の姿が気になります。千原さんの大らかな気持ちにふれ、一步踏み出す勇気を持ってほしいと思います。／煮詰まった時に、背中をバンと叩いて励ましてくれるような、気分が上向く一冊。／あれこれと悩んでばかりで終わるのではなく、行動してみる、話しかけてみる。それが大事。／若い世代にありがちな行動について、「それよりも、こんな風に考えてみんか」というシンプルなノリで、再考を促す本。分かりやすく読みやすく、それでいて軽すぎることなく絶妙。／著者のポジティブな生き方は、自分の世界をどんどん広げるためのコミュニケーションツール! つまりがさつ=前向きに挑戦すること! /ぶっちゃけトーク満載で面白いのにときどき耳が痛い、ただがさつなだけじゃなかったんだ。世界のどこに行っても相手が誰であろうとその懐に飛び込んでいく、強心臓ぶりで知られる千原せいじさんのコミュニケーション論。 でーれーBOOKS 2017

でーれー
BOOKS

2017
高校生向け
でーれ一本。



18きっぷ

朝井 均; 朝日新聞社

朝日新聞出版



夢を追う若者の姿は、きらきらに輝いて眩しく目に映る。高校生は、この先何にでもなれる可能性を秘めているのだと思われた。／もし進路で悩んでいたなら、これがどんな人間にだってなれるんだって思ってほしい。／18歳で選択する未来への切符。その表情はみんな清々しい。／いろいろなことを思い、考え、選択し、生きている。18歳がいるんだということ、知ってほしいです。／「18歳の選択」を表現した写真集。進路を決める=人生の岐路に立たされているみなさんに読んでほしい。悩んでいるのはあなただけじゃない。／それぞれの選択がどんな未来につながっているかは誰にも分からないけれど、大事なものは未来を自分で選ぶことだ。本書に登場した若者の顔を見て、そう実感した。／18歳で選択する未来への切符。進路に勇気をもらえる写真集。／夢を持つ18歳がいます。1年後、同じ夢を追いかけていなくても、今の自分が持つ思いを大事に、一日一日を過ごしてほしいと思います。 でーれーBOOKS 2017

ミライの授業

瀧本 哲史

講談社



安心人が選ばれる時代に、自分を安売りにしないために。1冊ものの伝記に抵抗がある人にもおすすめ。／未来をつくっていくのは10代の君たちだよ、というメッセージを、過去の偉人に学びながら伝えている点に大変好感を持ちました。／未来志向な内容もいいが、本の構成が素晴らしい。重要な部分にはマーカーで色分けされていて、各章末には「まとめ」がついている。／面白かった! 「若いから大きなことはできない」ではなく「若いからこそ世界を変える力を持っている」と思わせてくれる本。／偉人の成功例や失敗例を紹介しながら、若い世代へミライを生き抜く方法を示します。どれだけ個が優れていても、活かし方や仲間との連携を間違えると、成功には繋がらない。常識を疑い、証拠や事実を積み重ねながら、新しいミライを作ってほしい。そんな気持ちを中学生に向けて語った作品です。／タメになった、本を読んでも良かった、的な本。「(小説じゃない)何かいい本ないですか」に応えられるんじゃないでしょうか。 でーれーBOOKS 2017

転換期を生きるきみたちへ

中学生に伝えておきたいたいせつなこと

内田 樹 編 / 晶文社



言葉や政治、社会などの観点から、これからの時代を生きる若者へ向けた知恵と技術がつまったメッセージ集。／進学するにしても就職するにしても、流されるままではなく、今の「社会」のことを考えながら生き抜いてほしい。／自分のこと、社会のことを自分の頭で考える。きっかけにして欲しい。／内田樹、加藤典洋、高橋源一郎、白井聡、鷗田清一等々。現代を代表する各界のトップランナーが中学生の皆さんに伝えたい「大切な事」とは? 一冊で何度も目からウロコが…!! でーれーBOOKS 2017

見てる、知ってる、考えてる

中島 芭旺

サンマーク出版



10歳でここまでの考え方ができるのはすごい。自己啓発本への最初の一歩として薦めたい。／単純! だけど、だからこそ、グッとくるものがある。／思わずハッ! /10歳の子が書いた本ですすでに話題ですが、本書はこの子が大人びた言葉を使えるから評価されているわけではなく、むしろ「子供の目線」を言葉にしていることに意味があるのだと思います。「おなじばしょでもちがうほうこうをみればまたちがうけしきみえる」。すべてひらがなで書かれた言葉に、納得してしまいます。 でーれーBOOKS 2017

18歳からの選択

社会に出る前に考えておきたい20のこと

上木原弘修; 横尾俊成; 後藤寛勝

/ フィルムアート社



「知って、考えて、選択できる人」になってほしい。／民主主義、18歳選挙権、高齢化、結婚:子育て、人工知能、格差問題など全20項目について、多様な考え方をまとめた一冊。／これから社会にでる若者が世の中に関心を持つきっかけになるとともに、入試対策にもなる一冊です。／18歳選挙権が導入された今、日本のこれからの課題について考えるきっかけになる本だと思う。 でーれーBOOKS 2017